

## 2019（令和元）年度事業報告

### A. 調査研究活動

#### ア. 修学旅行に関する実施状況調査

●修学旅行の現況と各方面の意向・動向を的確に把握し、各種資料の提供に努める

- 1 三地区中学校の修学旅行実施状況調査
- 2 2018年度「全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修実施状況調査報告」及び「公立高等学校・中学校修学旅行方面別実施状況」、2019年度「全国都道府県政令指定都市修学旅行実施基準概要」調査

#### イ. 修学旅行に関する研究大会の開催

●全国大会をはじめ各研究大会を充実させこれからの修学旅行の在り方を探求した

##### 1 「第36回全国修学旅行研究大会」を開催

- (1) 開催期日・会場  
2019年7月26日（金）13:30～17:00 学士會館（神保町）にて開催
- (2) 大会主題  
学びの集大成を図る修学旅行
- (3) 全体目標  
感性をはぐくむ修学旅行
- (4) 発表内容
  - a 全修協報告 : 「全修協の歩みと陳情活動」  
(公財) 全国修学旅行研究協会 常務理事 守屋 勝利
  - b 事例発表 : 「中高一貫6年間を見通した修学旅行」  
品川女子学院 校長 仙田 直人氏
  - c 基調講演 : 「これからの修学旅行の在り方」  
文化庁 参事官（芸術文化担当）  
(前 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課長)  
坪田 知広氏
- (5) 参加者  
教職員、行政・地方自治体、修学旅行誘致団体関係者、報道関係者及び旅行会社の教育旅行担当者など、全164名が参加した

##### 2 各修学旅行委員会の研究発表会・研究大会・研究セミナーを共催

児童・生徒の育ちと学びに資する修学旅行の役割をさらに探求すべく、各修学旅行委員会が主催する研究発表会・研究大会・研究セミナーを共催し、開催内容のより一層の充実を図った

- a 東海修委：2019（令和元）年10月18日（金）愛知県名古屋市で開催

- b 近公修委：2019（令和元）年 11 月 15 日（金） 大阪府大阪市で開催
- c 関修委：2019（令和元）年 11 月 22 日（金） 栃木県宇都宮市で開催

### 3 修学旅行ホームページコンクールを開催

「第 19 回修学旅行ホームページコンクール」を主催開催

- (1) 参加校数  
全 125 校（小学校 32 校・中学校 50 校・高等学校 43 校）
- (2) 表彰対象  
「文部科学大臣賞」・「優秀賞」・「入選」の各受賞校
- (3) 開催の過程  
9/1～12/6 参加学校募集、12 月～2 月上旬 審査（審査員及び文部科学省）  
2/13 審査結果を発表（具体的な審査基準を事前に公表）  
2/27 表彰式を挙行（於：アルカディア市ヶ谷）
- (4) 受賞校
 

大賞（文部科学大臣賞）	開成高等学校（東京都）
優秀賞（小学校部門）	該当校無し
優秀賞（中学校部門）	石巻市立湊中学校（宮城県） 東洋大学附属姫路中学校（兵庫県）
優秀賞（高等学校部門）	東洋大学附属姫路高等学校（兵庫県）
入 選	鹿児島市立錦江台小学校（鹿児島県） 兵庫県立小野高等学校 桐蔭学園高等学校（神奈川県）

### 4 「台湾修学旅行現地研修会」を主催で実施

- (1) 目的  
アジア圏における生徒の相互交流活動を更に推進することを目指して実施  
なお、親日的な台湾の教育旅行に於ける魅力を探求する側面も有している
- (2) 「台湾修学旅行現地研修会」を下記内容で主催実施を行った
  - a 実施予定日：2019（令和元）年 12 月 22 日（日）～25 日（水） 3 泊 4 日
  - b 視察予定地：高雄・台南・嘉義・台北市内
  - c 後援・協力等：後援；台湾観光局/台湾観光協会  
協力；エアーチャイナ、旅行実施；(株)ユナイテッドツアーズ
  - d 参加者数：教職員 11 名＋スタッフ 5 名

### 5 修学旅行研究会の活動支援

学校の教育活動及び地域振興支援のため、修学旅行に関わる条件整備を更に進める  
方策を検討するため、「修学旅行研究会」の活動支援を継続した

- (1) 活動目的
  - a 北海道・九州・沖縄等の東京事務所、各観光誘致機関、航空会社、旅行事業者  
及び有識者等と共に、学校の教育活動及び地域振興に資するため、修学旅行に

関わる条件整備を図ること

- b 公立中学校の修学旅行での航空機利用促進のため、旅行費用の軽減に向けた研究を行うこと

(2) 参加者

本研究会の主旨に賛同する者（旅行研究団体、マスコミ、行政・自治体の東京事務所、運輸機関、旅行会社及び教育関係者 等）

(3) 開催時期

本年度については、5/9、8/28、11/7、2/13 の4回のほか、幹事会を4回開催した

(4) 要望活動

本研究会での討議結果を踏まえ、航空2社（日本航空・全日空）に対して、学校研修割引運賃（SE）の改訂及び受入体制の改善等を申し入れた

(5) その他

航空機利用の安全性を調査・研究するために、中学校教職員を対象とした「羽田空港機体整備工場の視察見学会」を開催した

a 開催期日：2019（令和元）年12月26日（木） 14:00～16:30

b 開催場所：全日空機体メンテナンスセンター、日本航空SKY MUSEUM

c 参加者：教職員34名、研究会会員19名 全53名が参加した

## ウ. 修学旅行情報の収集・発信・保存

### 1 修学旅行先支援

諸団体との協働により、修学旅行受入れ体制の充実及び修学旅行先の開発を図り、新たな学びの開発に努めた

(1) 修学旅行誘致活動の一環であるセミナー、説明会及び研修会等に対する支援、協力

a 北海道観光振興機構主催「北海道修学旅行説明会・相談会（東京・大阪）」

後援・来賓参加

b 東北観光推進機構主催「東北教育旅行セミナー（北海道内・首都圏・関西）」

後援・来賓参加

c 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館主催「2019年度広島平和学習セミナー（東京・名古屋）」後援・参加

d 九州観光推進機構主催「2019年度九州7県合同修学旅行説明会・相談会（大阪・岐阜・東京）」後援・来賓参加

e 沖縄観光コンベンションビューロー主催「沖縄修学旅行フェア2019 in 東京・大阪」後援・来賓参加

f 広島市主催「平和学習講習会（大阪・神戸・新宿・横浜）」後援・参加

g JR北海道主催「教育旅行セミナー」来賓参加

h 岩手県主催「修学旅行誘致説明会」来賓参加

i 岡山県主催「晴れの国おかやま観光プレゼンテーション」参加

j 長野県主催「北アルプス山麓育ち in 首都圏・in 中京圏」来賓参加

k 福島県観光物産交流協会主催「教育旅行誘致セミナー」後援・来賓参加

- 1 日本旅行業協会主催「2019年度教職員のための海外教育旅行セミナー（福岡・鹿児島・大阪・東京・仙台・広島・沖縄・札幌・名古屋）」後援・講演
- m 日本政府観光局主催「日台教育旅行関係者交流会」来賓参加
- (2) 修学旅行の多様性拡大の為の教職員現地研修会の実施（関修委・近公修委）
  - a 関修委・伊勢志摩現地研修 7/28～7/29 教職員 12名参加
  - b 関修委・北陸3県現地研修 8/4～8/6 教職員 14名参加
  - c 関修委・北東北現地研修 8/18～8/20 教職員 12名参加
  - d 近公修委・東北現地研修 8/18～8/20 教職員 9名参加
- 2 協会ホームページ「修学旅行ドットコム・修学旅行情報センター」の運営
 

広く情報を公開するため、協会ホームページの更なる充実を図った

  - (1) 修学旅行情報センターとしての機能強化のため、協会ホームページの内容充実を図った
  - (2) 賛助会員との連携を密にすることに加え、掲載情報の更新頻度を高め、発信する情報の最適化に努めた
  - (3) 新着情報の発信 33件 (3/31現在)
  - (4) 協会からのお知らせ発信 23件 (3/31現在)

## B. 輸送集約活動

### ア. 修学旅行の輸送に関する集約活動

●各地区修学旅行委員会の運営支援を充実させ、より効果的な修学旅行の実施に寄与した

- 1 関東地区公立中学校修学旅行委員会（関修委）の活動
- 2 東海三県中学校修学旅行委員会（東海修委）の活動
- 3 近畿地区公立中学校修学旅行委員会（近公修委）の活動
- 4 あおぞら号近畿地区運営協議会の活動

### イ. 修学旅行訪問地の開発活動

●「三地区修学旅行連絡会」等の活動を通して、修学旅行先の開発や情報提供の場を創出し、提供した

- 1 2019（令和元）年度三地区代表者連絡会議を開催
- 2 2020（令和2）年度修学旅行費国庫補助金の増額陳情を実施
- 3 「グローバルコミュニケーション KYOTO」を企画・監修
 

※「新型コロナウイルス感染症」拡大により、開催は見合わせ

## 管理業務（財団運営）

### ア. 公益財団法人としてのより効率的な組織運営の確立を目指した

- 1 効率的な予算の執行を図り公益事業比率 50%超を維持した
- 2 事業費及び管理費の見直しとコスト意識をより徹底した

## イ. 協会支援の賛助会員・受託事業等の拡大を図った

- 1 公的団体を中心に賛助会員の拡大に努めたが、目標に至らず、会員数は前年度と変化無し（新規会員目標 10 件に対し 3 件加入、退会 3 件）
- 2 受託事業は特に無し

## ウ. 従前の公立中学校との関係を更に緊密にするるとともに、高等学校や私立学校との連携・協力を努めた

- 1 全日本中学校長会等との関係を通じて、東京都中学校長会修学旅行対策委員会ならびに神奈川県公立中学校長会修学旅行委員会との連携を積極的に図り、「首都圏 3 地区校長会修学旅行委員会・連絡会」を定期的で開催するとともに、文部科学省、財務省への陳情も連名、協働で行った
- 2 東京私立中学高等学校協会及び公立高等学校との更なる連携を図った

## エ. 情報発信・提言の発信

- 1 全修協活動への理解拡大をより進めるため、各種情報・提言・提案等をホームページ掲載、冊子掲載及び委員会活動での資料配布等を通して、更に広い分野・方面に対して発信した

以 上